



来年度の保育園 入園手続き

問合先 保育課(☎51・2322)

市内には、私立・公立あわせて57の保育園があります。両親が就労、病気などの理由で、来年4月からお子さんを市内の保育園に入園させたい方は、入所申込書を提出してください。
申込書の配布 10月1日から各保育園
申込書の提出 11月1日～10日に、入園を希望する保育園

■保護者説明会

入園の基準、入所申込書の記入方法、保育料の算定方法などについて説明します。

■とき／ところ

10月15日(月)・16日(火)／市役所東85・86会議室(東館8階)、10月22日(月)／保健所・保健センター(中野町字中原「ほいごぶ」内)。いずれも午前10時～11時30分、午後1時30分～3時※いずれかの日の午前または午後(午前は混むことがあります)ですので、ご都合のつく場合は午後にお越しください

■保護者面接

入所申込書を提出した保育園で、保育を必要とする理由や、家庭の状況などについてお聞きします。お子さんと一緒にお越しください。※12月上旬～来年1月中旬に実施予定です(日程などは、本紙11月15日号に掲載予定)

■保育園一覧

特別保育	保育園名	定員(人)	住所	電話
■私立				
◎	向山	90	向山町字庚申下	53・5381
◎	豊橋ひまわり	150	東新町	52・3357
◎	昭和	180	東田町字西脇	55・3805
	正林寺	200	南松山町	55・5101
◎	塩満	200	小池町字西海戸	45・6161
◎	岩田	300	中岩田一丁目	61・2753
◎	東部	200	多米町字大門	61・1410
	玉川	100	石巻本町字日南坂	88・0526
	円通寺	220	上野町字上原	45・5256
◎	高師東	190	西幸町字古並	45・6715
	天伯	150	天伯町字豊受	46・7415
	東観音寺	60	小松原町字坪尻	21・2562
◎	緑が丘	150	細谷町字荒神松	21・1120
◎	明照	250	牟呂中村町	31・1419
◎	大崎	80	大崎町字平地	25・0918
◎	三宝	150	下地町三丁目	55・1990
	長栄	120	一色町字天猿	46・7760
◎	下条	40	下条東町字古城	88・5335
◎ ◆	野依	190	野依町字八幡	25・2653
	◆ 豊南	120	東赤沢町字西横根	21・2227
	◆ 高塚	110	高塚町字笹原	21・2136
	◆ 老津	150	老津町字宮脇	23・1329
◎ ◆	あしはら	200	西高師町字白山	46・5337
◎	二川東	150	二川町字東町	41・1110
	◆ 谷川	100	中原町字東荒神	41・1114
◎ ◆	春日	150	春日町二丁目	61・5628
◎ ◆	東山	120	大岩町字境目	41・5343
◎ ◆	羽田	180	花田町字百北	31・2294
	◆ 福岡	250	町畑町字森田	45・2217

●保育のあらまし

保育時間(通常保育)：月～金曜日／午前8時～午後4時、土曜日／午前8時～午後0時30分 **受入年齢**：おおむね生後6か月から **保育料**：市の保育料徴収基準により、保護者の課税状況に応じ決定

※保育時間・受入年齢は、園により異なりますので各保育園に問い合わせてください

乳幼児電話相談 **内容**：子育ての悩み・不安・疑問などの相談を、全ての保育園、吉田方保育園子育て支援センター(☎33・1135)、東山保育園子育て支援センター(☎41・5344)で受け付け **利用料**：無料

特別保育	保育園名	定員(人)	住所	電話
■私立				
◆	牛川	120	牛川町字中郷	52・5470
◎	花ヶ崎	200	羽根井本町	31・5671
◆	前芝	150	前芝町字西堤	31・0703
◎ ◆	こまどり	180	牧野町字北原	46・9120
◆	柱	220	柱七番町	46・8927
◆	ひばり	140	東岩田二丁目	63・1484
◆	三郷	160	神野新田町字ソノ割	31・3525
◆	松葉	90	北島町字北島	52・7006
	大村	120	大村町字松ノ木田	53・1013
	飽海	50	飽海町	55・5813
□◆	往完	180	往完町字郷社東	32・3225
◎	石巻	180	石巻町字奥屋敷	88・0159
	みどり	70	石巻平野町字中野田	88・0453
◆	嵩山	50	嵩山町字宮下	88・1014
	賀茂	50	賀茂町字宗末	88・3918
◎	吉田方	260	吉川町	31・7759
◎ ◆	吉田方西	200	小向町字西小向	32・2927
◆	磯辺	200	駒形町字丸山	45・3298
◎□◆	植田	150	植田町字池堀田	25・2411
◆	杉山	170	杉山町字御園	23・0140
◎ ◆	岩西	200	高師町字北原	62・0111
■認定こども園				
	めばえ	60	東小鷹野一丁目	61・8963
	希望が丘	60	大岩町字大穴	41・2392
■公立				
◎ ◆	津田	130	横須賀町林	31・3623
◎	新吉	60	新吉町	52・2711
◎ ◆	牛川東	150	牛川町字乗小路	61・4693
◎ ◆★	こじか	150	植田町字一本木	25・3165
◎□◆★	くるみ	90	松葉町三丁目	53・1528

※新吉保育園は、0～2歳児のみ保育します

●特別保育

各保育園では、次のような保育サービスを行っています。
延長保育(表内◎) **対象**：入園児 **内容**：おおむね午後7時までの保育 **利用料**：日額150円
一時保育(表内□) **内容**：病気、冠婚葬祭、週1～3日の就労などで保育できない時の保育 **利用料**：日額2,000円
障害児保育(表内◆)
休日保育(表内★) **対象**：1歳以上の市内在園児 **内容**：日曜日、祝・休日に仕事などで保育できない時の保育 **利用料**：日額2,000円

豊橋文化祭を開催します

問合先

文化課(西館3階 ☎51・2875)、
豊橋文化振興財団(向山大池町 市民文化会館内 ☎61・6145)

※開催日程などは次ページ

オープニング式典

とき 9月29日(土)午後2時

ところ 市民文化会館(向山大池町)

内容 ※敬称略

【表彰式】

豊橋文化賞／入倉昭星(西石田五

丁目)、豊橋文化奨励賞／金井ゆ

かり(東田町)、地域文化振興活

動功労賞／加藤欽士(多米東町)二

丁目)、榛葉陽一(東小鷹野二丁

目)、竹本與一(東小浜町)、田中

景子(牟川薬師町)、松村春夫(佐

藤二丁目)、水越國夫(下地町)、

宮城金男(賀茂町)、山口泰弘(飯

村北三丁目)、山本淳子(植田町)

【オープニング演奏】豊橋マリンバの会

【記念公演】東日本大震災(復興)に

夢をはせるバンド「西垣恵弾ファミ

リー」によるライブ・ギター・

マリンバコンサート。曲目／チャ

ルダッシュ(モンテン)、歩(こ)映画

「こたりのトトロ(より)ほか

入場料 無料(整理券必要) ※整

理券は9月15日から文化課、豊橋

文化振興財団で配布(先着300

枚)。配布初日は1人4枚まで

平成24年度
郷土文芸作品集を配布します

配布部数 100部(先着順)

配布期間 10月9日(火)～31日(水)

価格 無料 配布場所 市役所

文化課(西館3階 ☎51・2875)

【服部巨志選】

中尾喜美子(豊川市)

近頃は証拠写真であれば良し枝

垂れ桜の片隅の吾

◆俳句 特選

【石瀬麦流選】

彦坂勝司(田原市)

炎帝に毒つきながらバスを待つ

【岡崎ゆき子選】

河邊満江(仁連木町)

春愁や落ち切つてゐる砂時計

【加藤浩子選】

石原静子(豊川市)

更衣みな抜け殻のナフタリン

【早川翠楓選】

相川武仁(豊川市)

田植機が車列従え村を行く

【星野昌彦選】

馬場英子(豊川市)

からたちの棘なまなまと太宰の忌

◆川柳 特選

【鈴木順子選】

竹内そのみ(豊川市)

丹念に洗つ年輪見せる首

【鈴木如仙選】

郡山弘子(松村町)

パンのみに生きても夢は枯れてない

【渡邊幸子選】

鈴木裕子(豊川市)

幸せにしてみようよりしてあげる

◆現代詩 特選

【田代田選】

橋本京子(東田町)

『ふるさと』

川俣町の銭湯「梅の湯」に

四枚の大きな絵が飾られた

満開の桜の太木

そのまわりには梅 桃 杏

いつせいに花開いている

草原ではたくさんの牛が草を食んでいる

牛乳を運ぶタンクローリー

運動場で野球をする子どもたち

阿武隈山系にかかる輝く夕日

日本に二人しかいない銭湯絵師

中島盛夫さんは福島県飯館村生まれ

川俣町の中学校を借りて授業を受けている

母校の飯館村立草野小学校の生徒たちが

中島さんと銭湯絵師に挑戦した

さくらんぼも桃ももっ食べられないんだよ

いつしよに野球してた友達は

遠くに引越しちゃった

タンクローリー運転してたおじさんは

牛舎の壁に「原登きえなれば」と書いて

自殺したんだって

完成したふるさとの風景にかこまれて

中島さんと一緒に風呂にはいる

子どもたちのはしゃぐ笑顔
草原の絵の片隅に描かれた
柵越しにこちらを見ている牛の
なんと悲しい眼

【紫圭子選】

山崎功(忠興三丁目)

『小樽にて』

駅を降りると

その地は私の心を投影して

夢の中の色彩のない抽象の世界

雪の路面に靴底の線が

ひとつひとつ交差する

スケートリンクの氷上の

投げられたバラの花束や

靴の刃の軌跡は

演技が終れば消えていくのに

私の生きてきた足跡は

気付けば身体にまとい付く

鉛のように重い衣

さびれた石造倉庫の鉄の黙った扉

屋根から下るとい氷柱

そのとき私の足音に驚いて

土手の雪のひとかたまりが

つめたい連河の水面に

滑り落ちて溶ける

水底から湧き上る無数の泡

白い二条の帯の真ん中を

つらめく黒い連河を流れる

泡の中にある

私の中にある

消えることのない情念